

高等学校

教科【数学】

単元【数学Ⅱ：二次関数の最大・最小】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

関数アプリを活用し、変化する関数を視覚的に捉えることで理解が深まり主体的・対話的な授業となる。

ICT活用のポイント

関数や定義域の変化について頭の中でのイメージしていたものを視覚的に捉えることができ、深い理解につながる。

使用する
ICT機器タブレット (Chromebook)
※OS等は問わない使用するアプリ・
クラウドサービス等Google Workspace for Education (Classroom)
GRAPES (東京書籍：ウェブページ)クラウド
の活用教材の配布・回収等
生徒の学習状況の把握
資料等の共有
その他 ()本時の
ねらい

関数の最大値・最小値と定義域の関係性を理解する。

主な学習活動
(学習場面)

ICTの活用・留意点等

評価

導入

○前時の復習と
本時の目標を
確認するClassroomで前時の内容を確認する。
本時の目標はスクリーンで確認する。

指針2

一斉

クラウド

ICT機器



展開

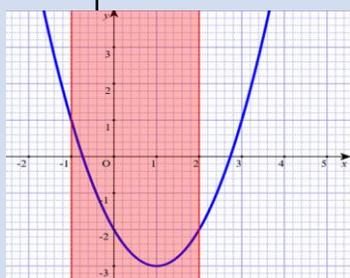
○最大値・最小
値についての
説明をうける各自でGRAPESの使い方を再度確認する。
定義域の設定の方法をスクリーンで確認する。

一斉

○GRAPESを活用
し考察する各自が定義域を設定し、最大値・最小値の変
化を視覚的に捉え考察する。

指針3

個別



ICT機器

○考察結果を
Google Classroom
を通して共有する各自が考察した内容をGoogle Classroom内で意
見共有する。

クラウド

ここで評価

【思】GRAPESを
活用し、関数の
最大・最小と定
義域の関係性に
ついて考察し表
現することがで
きる。

終末

○本時の振り返
りフォームで作成した振り返り課題に回答
(後ほど教師が結果を確認)

クラウド